

ふれあい

2015年1月
現在の会員数
男性 1,258名
女性 485名
合計 1,743名

2015年/1月
144号

題字 府中市長 高野律雄 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/府中市寿町3-2 ふれあい会館2F/TEL042-366-2322



手づくりの会による作品

謹賀新年

会長
副会長
常務理事
理事

監事
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

職員一同

棟方鷹揚 小林敏彦 松田肇 宮澤洋 山口弘美 近藤敦 倉地真弓 渡谷彰 徳田豊彦 田嶋淳 松本基男 智田悦子 澤村一男 和田道夫 高木政邦

●目次

- 新年のごあいさつ 2
- シルバーフェア開催 3
- 未年生まれの会員さん 3
- けやき並木ボランティア清掃 4
- 府中NP0・ボランティアまつり 4
- 地域懇談会開催 5
- 働く会員の職場訪問 6
- 府中リサイクルフェスタ2014 7
- お知らせ 7

新年明けまして おめでとうございます

会長 棟方鷹揚



会員並びにご家族の皆様、輝かしい平成27年の新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

新年の初めに当たりまして、センター設立から37年が経過し、先人達・会員の皆様の絶え間ないご努力の積み重ねは、優れた実績を築き上げ、更なる成長への原動力となつていくことに、心からお礼を申し上げます。

会員の皆様には、個人の能力に応じて、安全を優先し、勤勉で、丁寧な、正確に、責任感を持った就業に、地域社会、地域の人々から高い信頼と評価をいただいております。改めて、実感と誇りと健康で、働く意欲持って、就業に当たっていただきたいとお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

府中市長



新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人府中市シルバー人材センターの会員並びにご家族の皆様におかれましては、輝かしい平成27年の新春をお健やかにお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、皆様には日頃より、市政の各般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、貴センターにおかれましては、地域の発展のため、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、事業内容の充実に努められるとともに、市民の皆様へ信頼され、安定した実績を築いてこられましたことは、誠に同慶にたえません。これもひとえに、棟方会長をはじめ、歴代の役員並びに会員の皆様が、安定した運営と誠意ある仕事に努めてこられた賜物と、深く敬意を表する次第でございます。

高野 律雄

表す次第でございます。

近年、少子高齢化が急速に進み、社会・経済情勢のめまぐるしい変化や、ライフスタイルの変化とともに、皆様を取り巻く環境も大きく変化しております。また、平均寿命もさることながら、健康寿命を延ばすことが求められており、高齢者の皆様がいそいそと実現し、生涯にわたり積極的に地域や社会とつながっていくことが大切でございまして、貴会への期待とその役割は、今後、ますます大きくなるところでございます。

本市といたしましても、昨年10月に挙行されました「喜びの集い」において市民協働都市宣言を行い、市民、民間企業、団体の皆様とともに、これからの新たな時代にふさわしい洗練された魅力あるまちづくりに取り組んでおります。どうか会員の皆様方におかれましては、今後とも幅広い知識と豊富な経験を生かされまして、ご活躍くださいますよう、お願い申し上げます。

新春にあたり、府中市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員並びにご家族皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

シルバー人材センターフェア開催

センターの事業を広く市民の方々にご理解いただくためのイベント「府中市シルバー人材センターフェア」が10月22日(水)・23日(木)の2日間フォーリス1階「光と風の広場」で開催されました。初日はあいにく朝から雨模様で出足も鈍りがちでしたが、次第に晴れ間に変わり来場者でにぎわいました。

会場には「府中市シルバー人材センターフェア」の大横断幕が張られて、仕事内容の紹介写真の展示や各職群の植木剪定の相談、襖張替



えの相談、刃物研ぎの相談受付、出張着付け相談、書道・パソコン教室の体験と受付、小物班の手作り品の販売、会員入会相談、屋外にふとん乾燥車、「おたすけ隊」の案内の各コーナーが開設されました。

2日間の延べ来場者数が千七百八十三人と前年度をやや下回り幕を閉じました。開催に当たり地域委員が中心となり、運営しました。センターの活動と豊富な技術力や経験を市民のみなさんにご理解いただけたと思います。



生井次郎さん
(今年72才)

府中在住約50年の生井さんは奥さまのおすすめでシルバー会員に。現在はフォーリスと伊勢丹の駐輪場管理業務をされています。

月20日ほどの勤務ですが、「夏の暑さ以外は気にならない」とのこと。それどころか持病の糖尿病ま

で数値がよくなり、地域とのつながりもできました。

生井さんが音頭をとって始まった「虹の会」は駐輪場仲間でカラオケやお酒を楽しむ会合です。他にも地元若松町関の原自治会の役員、府中市老人クラブ連合会では高齢者クラブ若松絆の会の副会長と、輪を広げています。

「お客さんとのやり取りが楽しい。シルバーの仕事はずっと続けたい」と話す生井さん。ますますのご活躍をお祈りしています。

未成年生まれの元気な会員さん



山下千代江さん
(今年84才)

の頃からずっと働きづめだった山下さんですが「仕事をしようという気持ちや身体を動かすことは健康にもいいのかもしれない」と、いつでも「プラス思考」。

70代になり娘さん一家と同居するため府中に来てからも、すぐにシルバー会員として朝日体育館の清掃を始めたそうです。今は手首を痛めて休職中ですが、さつそうと自転車をご後姿に「働くことが元気でいられる証拠」という山下さんの言葉が蘇りました。

けやき並木 ボランティア清掃



10月24日(金)午前8時からけやき並木ボランティア清掃が実施されました。10月はシルバー人材センターの広報強調月間で、この清掃活動も市民の皆様にセンターを広く知って頂くためにこの時期に実施しています。

例年の集合場所は府中駅のみずほ銀行前ですが、今年は府中駅南口再開発の工事のため、例年の場所が手狭で通行の方の邪魔になるので、二階部分に移って集合しました。

集合時間の7時45分には約60名

の会員が集まりました。担当の田嶋地域委員長の指示により参加者が4班に編成され、けやき並木の南方向の右側歩道と左側歩道、けやき並木の北方向の右側歩道と左側歩道の担当に分れました。

棟方会長のあいさつはシルバー強調月間の目的と、参加者が清掃作業中にケガや事故の無いように注意がありました。

各班は準備された道具とごみ収集の袋を持って、担当場所に向かい清掃活動を開始しました。朝の出勤の方など多くの通行の方とあいさつを交わしながら、通行の邪魔にならないように注意して落ち葉とゴミの収集をし、約1時間で終了しました。

参加者の活躍で府中市のシンボルである、けやき並木の両側の歩道は落葉やゴミが無くなりすっきりとしました。



府中NPO・ ボランティアまつり

11月29日(土)～30日(日)の2日間、グリーンプラザにおいて市制施行60周年記念第12回府中NPO・ボランティアまつりが開催されました。主催は府中市、府中NPO・ボランティアまつり実行委員会、NPO・ボランティア活動センターで100以上の団体・組織が参加し、テーマは「何かが見つかる 何かが始まる まず一歩」でした。

初日の午前中は生憎の雨模様でしたが、午後は来場者も多くなりメイン会場の6階(わくわく体験ブース)、5階(いきいき大人のまちづくりブース)は、活気にあふれました。

シルバー人材センターは小物班が、1階「掘り出しこみち」の入り口近くに展示し、おそろいの赤いエプロン姿で会員の手作りの衣類やバッグ、お手玉などの商品を販売しておりました。

その他京王線の北口広場では、餅つきや団子やじゃがバターの販売、抽選会などもありました。

今回のまつりで興味をひいたものは、ボランティア活動にかかわるきっかけとなった何人かの体験発表で、一人10分程度の話でしたが、ど

れも素晴らしいものでした。

二日目は晴れて、来場者で一層にぎわいました。スタンプを5個以上集めれば抽選ができる「スタンプラリー」、出展ブースで参加や体験をしてキャンディをもらい、細長い袋に詰めて首飾り状につくる「キャンディレイ」などもあり、子供たちはお母さんたちと会場内を楽しそうに廻っていました。予想外の賑わいで、用意したキャンディがなくなるブースも多くありました。

当センターは、この主催団体に段ボール箱2個分の古本を寄付しており、古本市を通して、これらの本もほとんど売れてしまいました。売上収益金は赤十字社を通じ、東日本震災被災者支援に寄付されるということです。また、売上内その他の品物分二千三百円については、社会福祉協議会に寄付しました。



地域懇談会が開催されました

是政地域懇談会

10月14日(火)に是政地域懇談会が開催されました。前日に台風19号が通過し、当日も風の強い日でした。そのためか出席者は、昨年の30数名の半数くらいになり座席はお互いの顔がよく見えるように箱型になっていました。少ない分、家庭的な雰囲気の中で、地域委員の浅井さんの司会で、懇談会が始まりました。

小林副会長から、配布資料をもとに、事業実績や、センターの抱える課題、今後の主な行事予定の説明がありました。地域担当の田嶋理事から、会員の皆さんの希望・要望を解決すべく活動していることなど、伊澤主事から、会員数が年々100人位づつ減っているの、地域のつながりを充実するためにも、増やしていきたいとの話がありました。

その後、参加者全員が、センター在籍年数、現在従事している仕事の内容や、日頃思っていることなどの発言がありました。みなさんが

誠意をもって、仕事に取り組んでいることが、よくわかりました。

会員の希望職種と募集職種のミスマッチなど、解決が難しい話題も出ましたが、特に公益社団法人になってからは、請負業務から外れそうな仕事は、減少しているそうです。

最後に浅井さんの挨拶で、約2時間の懇談会は終了しました。

住吉地域懇談会

10月18日(土)午後1時15分から住吉文化センターで開催されました。

棟方会長をはじめ、松本地域担当理事、倉地理事、山口理事と地域の多数の会員が出席して約50名の参加で開会となりました。

司会は前半が古谷班長で後半が伊藤班長の担当でした。司会による開会宣言に続いて「安全はすべてに優先する」(ビデオ)が上映され、会員の安全就業について再確認をしました。

棟方会長と松本地域担当理事からは、センターの現状と課題につ

いて説明がありました。

参加した会員の自己紹介や質疑応答があり、会員からの質問に会長から丁寧な回答がありました。

次の特別企画は、分梅町2丁目・5丁目担当の松村班長(日本体育協会公認スポーツ体操上級指導員)による「ながら体操」の指導でした。この体操は、テレビを見ながら腰かけながら・お茶など飲みながら出来て、絶大な効果が得られる体操で、その基本の部分が具体的に実習できました。

定刻となり笹川地域委員の挨拶で閉会となりました。

紅葉丘地域懇談会

11月11日(火)紅葉丘文化センターにおいて、50余名の参加で開催されました。松田常務理事、田嶋理事、伊澤主事の挨拶の後、府中警察署犯罪抑止対策アドバイザーから最近注目の振り込め詐欺の被害状況と対応について講演がありました。その後会員との懇談が行われました。

吉本抑止対策アドバイザーの講演は最近の振込み詐欺の現状を、「府中市は警視庁102警察署の中で被害件数65件、被害額一千六百萬九十一万円でワースト3(11月11日現在)」、とのこと。

具体的事例を交えた身に迫る講演でした。「私は大丈夫」と思っている人が一番危ないとのこと。大変有意義なお話でした。

懇談会は参加者全員から自己紹介と就業状況の報告があり、学校、庭球場等の鍵の開閉、駐輪場管理、公園清掃等の方が15名で半数以上でした。駐輪場担当の方から早朝6時からの就業にご苦労されている様子が報告され、また駐輪場施設の改築工事に伴うトラブルを懸念されていました。テニス



コートの鍵の開閉の方から「心無い市民のタバコのポイ捨てが一向に無くならないのに頭を痛めている」との報告もありました。その他「日頃の就業の苦労の中にも喜び、楽しみがある」との声も多数聴かれました。有意義な2時間半でした。

白糸台地域懇談会

10月25日(土)午後1時30分より白糸台文化センターの大広間で、約40名の参加で開催されました。センターから松田常務理事と田嶋理事が出席し、地域の会員さんは班毎にまとまるように、席が指定され会話が弾んでいました。

関口地域委員の司会で開会となりました。松田常務理事と田嶋理事からはセンターの現状の数字と課題や、今後の予定について説明がありました。その後、会員の自己紹介や質疑があり、田嶋理事から回答を頂きました。

休憩後、府中消防署白糸台出張所の方の説明で、「AEDの使い方(応急手当の方法)」について実習しました。全員がAEDの操作を体験出来ました。

白糸台2・3丁目を担当の渡邊

班長の閉会の挨拶で終了となりました。尚、この懇談会の記録を次の班長メールで地域の全会員に配布して、会員の関心を高め次回の参加者の増加につなげるそうです。

武蔵台地域懇談会

11月17日(月)武蔵台文化センターで開かれました。小林副会長、松本理事、事務局の伊澤主事含め約30名が集いました。

懇談会は、地域委員の圖師さんの司会で始まり、小林副会長からはセンター会員数や事業実績現況について、松本理事からはボランティア活動や懇親会出席率の報告、安全就業についてのお話がありました。会員の自己紹介では、入会経歴や現在の仕事、趣味など、人生経験豊富な方々のお人柄が表れた楽しいお話でした。

今回のイベントは、「元気一番! 介護予防のための健康ストレッチ」です。地域包括支援センター・泉苑の青木さん、横地さんの指導でストレッチや筋トレなど、長時間席にお座りだったお疲れを、講師の動きに合わせて各部位の筋肉をほぐし、汗をかきリラックスされ、最後に記念写真に納まり閉会となりました。

「働く会員の職場訪問」 手作り小物班

各催事場で人気の「手作り小物班」の出店先にお邪魔し、リーダーの竹内初子さんに、職場のお話を伺いました。

発足して8年程になります。現在、会員16名とセンターが公益社団法人となつてから市民参加者が数名加わり、約20名の女性毎月第2・第4木曜日に晴見町「ゆうゆう」に集つて作品づくりにあたっています。

編み物、手縫い、ミシン掛け等の手先器用な方々が各自の得意分野で実力を発揮した作品は、センター出店の催事場で販売します。価格設定は各自が決めます。お手玉の90円から毛糸ベスト6000円などリーズナブルな価格です。

売上高は年間100万円位との事ですが、殆どが材料費や事務費に費やされて手間賃まではなかなか難しいとの事です。採算は別にして、売上を次の材料費のステップとし、作る喜びとお客さんが気にいって購入いただいた時が何よりの喜びとの事です。時にはあの様な品物が欲しいとの嬉しいオーダーや、お客さんから材料を提供していただく事もあります。

竹内さんは常に季節に向く品を考え、既製品と違う手作りの良さを検討し、時流に即したテーマを班の皆さんに提案して喜ばれる作品になるように心掛けているとの事です。

また、最近提案の「レインボープレスレット」はこれまでとは異質ですが、英国のキャサリン妃が身につけ、英国や米国で大流行中のプラスチック輪ゴムで作るカラフルな腕輪を取りあげた作品を販売して好評です。

和の色合いの懐かしい手芸のお手玉・草履・ねんこから、欧米で流行のレインボープレスレットの彩りまで、幅広い作品に挑戦しながら活躍中です。



府中リサイクルフェスタ 2014

10月25日(土)、爽やかな秋晴れのもと、「リサイクルフェスタ・2014」が府中市とNPO法人府中リサイクル推進協会主催で、日鋼町のインテリジェントパーク内「すずかけ公園」で開催されました。

フリーマーケットに応募の100店が、3畳程のスペースに各々の品を所狭しと並び、すでに開店前から詰めかけたお客さんで大賑わいでした。10時、リサイクルフェスタ中村実行委員長の開会宣言でスタートしました。

センターも手作り班の小物販売、刃物研ぎ班、地域班はこども



達に喜ばれるスーパーストックのコーナーを設けました。小物販売のお店には、手作りのあたたかみのある手芸品に足を止める人も多く見かけられ、刃物研ぎは安価でシャープな切れ味を魅了するリサイクルに貢献。スーパーストックには沢山の親子連れやゆるキャラの「リサちゃん」も立寄りそれぞれコーナーで人気をよんでいました。

開催途中に高野市長や「リサちゃん」が会場を巡り、出展者に話しかけたり記念写真に応じたりと、市制施行60周年の冠行事を盛上げていました。

会場では、ごみの出し方や分別ルールのパネルを見る人、買物マイバシク作りに参加する人、小型家電回収のコーナーに持ち込む人など、地球環境を守るための更なる府中市民のリサイクル意識高揚を感じました。

あなたの作品を募集中 第4回ふれあい作品展

作品受付期間：平成27年1月13日(火)～23日(金)※当日消印有効
※募集期間中でも募集点数80点になり次第締め切ります。

募集点数：80点(1人1点・先着順)※出展料は無料です。

申し込み：出展申込書に必要事項を記入の上、事務局に提出。

郵送でも可。※申込書はセンター窓口にてお渡しします。

作品内容：洋画(油彩・水彩等)、日本画、版画、書、写真、オブジェ、人形、彫刻等 ※生花不可

作品展 開催日：平成27年2月20日(金)～23日(月)

会場：府中グリーンプラザ5階 展示ホール

平成26年度主な行事予定
実施月 行事名

平成27年

1月 役員班長合同懇談会(15日)

第18回安全推進大会(23日)

2月 第4回ふれあい作品展(20日)

23日)

編集後記

平成27年を迎えて新たにセンター会員の「自主・自立・共働・共助」理念を会長並びに市長からの新春のあいさつで始まり、26年度の行事もセンターフェアや懇談会が各地で開かれ、会員の業務活動報告や地域住民へのボランティア活動も参加が根付いてきました。仕事を続けること、働く意欲を持つことで元気でいられる会員さんのお話で頼もしさを感じました。

(広報委員会 徳田)

第18回安全推進大会開催のご案内 「認知症を知る」

★認知症とはどんな病気？

★認知症の人にはどう接したらよいか？
を学びます。

日時：平成27年1月23日(金)

14時開始 16時終了予定

会場：府中市ふれあい会館5階第4会議室

※参加いただける方は、1月20日(火)までに事務局までお申し込みください。ご参加をお待ちしています。



府中市シルバー人材センターフェア



けやき並木 ボランティア清掃



紅葉丘地域懇談会



白糸台地域懇談会



武蔵台地域懇談会



府中リサイクルフェスタ 2014



府中NPO・ボランティアまつり